

科目名		担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
上級簿記		森 宏之	講義	2		1, 2, 3	1, 2, 3, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的		簿記は、経理実務や経営管理に役立つ知識として、多くの企業から求められる資格の一つです。本講義では、財務諸表から経営内容を把握できるなど、企業活動や会計実務を踏まえ、適切な処理や分析を行うために求められる知識を養うことを授業目標とします。具体的には、商業簿記を中心として、これまで学んだ簿記の初級の知識や技能を更に発展させ、日商、全経など各種簿記検定試験の上級に対応できるように講義と演習を繰り返し行います。また、企業活動の中で、どのように簿記の技術が利用されるのか解説することにより、具体的なイメージを膨らませて知識の定着を図ります。						
到達目標		日商簿記 2 級レベルの基本的なスキルを習得するだけでなく、実務でも応用できるようにその背景や関連知識の習得も目標とします。						
回	学習内容							
1	ガイダンス 商品売買業、サービス業の処理							
2	現金と預金							
3	手形と電子記録債権、債権譲渡							
4	有形固定資産							
5	リース会計							
6	無形固定資産と研究開発費							
7	有価証券							
8	引当金							
9	外貨建取引、株式の発行							
10	剰余金の配当と処分、税金、税効果会計							
11	決算手続き							
12	本支店会計							
13	連結会計①（連結財務諸表とは、支配獲得日の連結、支配獲得後の連結）							
14	連結会計②（内部取引高や債権債務の相殺消去、手形取引や貸倒引当金の修正、未実現利益の消去）							
15	試験（授業の総まとめ、簿記検定試験について等）							
予習内容 復習内容	予習：テキストの講義範囲を読む。 復習：テキストの講義範囲の問題を繰り返し解く。							
教科書	初回講義時に案内します。（日商簿記検定 2 級用の書籍を予定）							
成績評価	試験（60％）、平常点（40％）で成績評価を行います。 平常点は、出席と小テストの成績及び発言など積極的に取り組む姿勢を総合的に考慮します。 試験は、日商簿記 2 級程度のレベルの試験を実施します。							
実務経験	名古屋税理士会に所属する税理士です。現在、会計事務所やコンサルティング会社を経営しております。実務経験に基づいた具体例を多く取り上げます。簿記が実務でどのように活用されているのか解説し、実務との関連性の理解を深めたいと思います。							
その他 特記事項	受講者の理解度などによって、学習内容を変更することがあります。 12 桁の電卓を持参してください。							